

船橋市図書館システム更新業務事業者評価基準

1. 趣旨

この基準は、船橋市図書館システム更新業務（以下「本業務」という。）に関する提案のうち、最も優秀な提案を行ったと認められる者を選定するために必要な事項を定める。

2. 評価方法

評価委員は、各提案者の提案書、プレゼンテーション、ヒアリング、見積金額を基に、評価表の評価項目について評価し、各評価委員の採点の合計点数が最も高い者を受託候補者とする。

ただし、合計点数の最も高い者が複数いる場合は、「基本評価項目」の評価点が最も高い1者を受託候補者とする。

提案者が多数の場合は、提案書の内容及び見積金額をもとに評価項目大項目2番及び3番の項目について評価点を算出する1次審査を行い、評価点の合計上位3者により2次審査を実施する。なお2次審査においては、プレゼンテーション後に改めて全ての評価項目について評価する。

3. 評価項目と配点

各項目の点数配分は下表のとおりとする。

項目	配点（満点）
基本評価項目	524
詳細機能要件	904
見積金額	150
合計	1578

4. 評価点の算出

（1）基本評価項目における評価点の算出

評価項目の内容は、別表「船橋市図書館システム更新業務評価項目 基本評価項目」による。評価点の算出は、評価委員会の採点により行う。評価項目ごとの各委員の採点に、各評価項目の重要度に応じた倍数（1倍～5倍）を乗じた点数を算出し、その平均点（小数点以下四捨五入）を当該評価項目の点数とする。そして、全ての評価項目の合計点を評価点とする。基本的な採点基準は、各評価項目に対し、「特に優れている：4点、優れている：3点、普通：2点、やや劣っている：1点、劣っている：0点」とする。

（2）詳細機能要件における評価点の算出

評価項目の内容は、別表「船橋市図書館システム更新業務評価項目 詳細機能要件」による。評価点の算出は、参加事業者からの回答をもとに事務局で採点を行う。

必須項目に関しては、対応可否の回答に応じて「A（パッケージシステムで対応可（予定含む））＝3点、B（カスタマイズで対応可）＝2点、C（代替案で対応可）＝1点」の点数を当てはめる。

要望項目に関しては、上記同様の対応可否の回答にて対応できない場合は0点となる。

基本評価項目との比重を考慮し、上記で算出した点数のうち、「1システム全般」～「16

帳票」については、0.5倍を乗じ、「17帳票一覧」に関しては、0.25倍を乗じて点数を算出（小数点以下四捨五入）し、その合計点を評価点とする。

(3) 見積金額における評価点の算出

最も見積額の低かった提案者に満点を付与する。

その他の提案者については、以下の計算式にて評価点を算出する。

評価点＝見積金額の配点額満点×見積最低額／見積額（小数点以下四捨五入）